

# 2025 年度 専門学校早稲田国際ビジネスカレッジ事業報告

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

(担当者：校長 川出深雪)

## ●在籍者数 (2026 年 5 月 1 日現在)

(単位：名)

課程	工業		文化教養			計	充足率
	国際情報	国際教養	デザイン総合		国際コミュニ ケーション		
			デザイン	テキスタイ ルデザイン			
入学定員	30	65	20	20	20	155	-
収容定員	60	130	40	40	40	310	-
1 年	30	50	13	13	3	109	70.3%
2 年	11	50	6	16	4	87	56.1%
合計	41	100	19	29	7	196	63.2%

※編入学での受入数は 2 年生に計上 (国際教養学科 13 名、国際情報学科 7 名)

## I. 2025 年度の事業概要

事業計画項目		達成度
1	<p>【国際教養学科・国際情報学科】 一般入試への受験者を増やし、合格機会を拡充し、競合校との差別化を図る</p> <p>【デザイン総合学科】 近年、「1 点もの」への価値評価を背景に、人気の高いエコプリントの授業を実施</p>	<p>一般入学試験を目指した対策授業 (αゼミ) を新規実施し、国公立大学の合格者を増やした。 100%達成。</p> <p>草木染色作家・駒澤菜穂子先生を招聘し、エコプリント授業を実施。自然染料を用いた表現技法について実習形式で学ぶ機会となった。 100%達成</p>
2	<p>【国際教養学科・国際情報学科】 難関大学の入試広報担当者を招き、進学説明会を開催</p> <p>【デザイン総合学科】 イベント出展により知名度の拡大と入学定員の確保を目指す</p>	<p>慶応大学大学院 (10 月)、国際基督教大学 (10 月)、秋田大学 (1 月)、茨城大学 (1 月) の進学説明会を開催。100%達成</p> <p>「染の小道」に 8 年連続で参加し、暖簾を 8 店舗に展示。展示した店舗の一部から、学生が制作した暖簾の購入依頼があった。</p>
3	<p>【国際コミュニケーション学科】 CLARK NEXT Tokyo の e スポーツコースの学生と合同合宿を行う</p> <p>【デザイン総合学科】 都立高校生のための職場体験ジョブキャンパスを開催</p>	<p>8 月に合宿を行い、多くのプロゲーマーからゲーム指導、キャリア指導を受けた。100%達成</p> <p>7 月に職場体験ジョブキャンパスを実施し、都立高校生が 7 名参加した。</p>

## II. 2025 年度の取り組み

### 1. 2026 年度入学生募集活動 <入試状況>

学科	志願者数		受験者数		合格者数		※入学者数			2026 年度生 目標数	目標との 差	達成度 (%)
	2025 年度	2026 年度	2025 年度	2026 年度	2025 年度	2026 年度	2025 年度	2026 年度	前年度 対比			
デザイン総合	46	33	46	30	46	28	38	26	-12	30 人	-4	86.7%
国際コミュニケーション	5	3	5	3	5	3	5	3	-2	10 人	-7	30%
国際教養	166	117	166	117	94	81	84	66	-18	80 人	-14	82.5%
国際情報	86	61	86	61	44	33	40	32	-8	40 人	-8	80%

## ＜募集活動における課題と改善策＞

### 【国際教養学科・国際情報学科】

- ・これまで強みとしてきた中国人学生の他、優秀な非漢字圏学生が集まり始めているが、まだ、非漢字圏大学受験生に対しては認知度が低い。2026年度は、SNS活用を一層推進していくことで改善を図りたい。具体的には、これまでの漢字圏向け「小紅書 (Red Book)」以外に、非漢字圏向け「Facebook」を活性化させ、各対象学生に向けたアプローチを試み、訴求力を上げていく。
- ・出願時期が後半になっている現状改善に向けて、日本語学校生むけのオープンキャンパスを夏季に実施し、認知度向上および早期出願の促進を図る。
- ・在校生・卒業生の満足度を上げるための同窓会やキャリアセミナーなどのイベントを実施し、口コミ、「友人からの紹介」を増やす。

### 【デザイン総合学科】

- ・日本人学生の出願が減少していることから、ターゲット層に認知度が高い「グラフィックデザインコース」の設置、また「テキスタイルコース」から「ファッションテキスタイルコース」に名称変更する。また、午後部から昼間部に変更し、新たに午前部を設置することで、設備、教室を有効に活用し、教育の質の確保を行う。

### 【国際コミュニケーション学科】

- ・授業内容をeスポーツビジネスに特化することで、本校の授業内容を明確化し、競合校との差別化を図り、募集強化を行う。

## 2. 2025年度に実施した新たな事業内容の結果と2026年度への課題

項目	事業内容	2026年度への課題
(1) 新規授業の立ち上げ	共通テスト対策として「共通テスト現代文ゼミ」「共通テスト古典ゼミ」を開催	本ゼミはテスト対策にとどまらず、学生のモチベーション向上にもつながった。次年度以降は開講時期の見直しや回数の拡充を図る。
(2) 東京都教育庁	都立高校生のための職場体験ジョブキャンパスを開催した。	都立高校生と在校生の交流を深め、「伝統」だけではない、親しみやすく楽しい学校を印象づける。
(3) 卒業生との連携強化	成功体験発表会や勉強合宿でのインターンとして幅広く活動した。	漢字圏だけではなく、非漢字圏出身のティーチングアシスタントも増やす。また、ゼミ授業やキャンパスツアーなど主体的な活動を促し、縦のつながりを強化していく。
(4) eスポーツコースのカリキュラム進化	eスポーツコースの進化のために、カリキュラムの見直しを行った。	多様なゲーム種目からプロゲーマー講師を招聘していくことと、動画制作の能力育成に力を入れて高校生への訴求力を上げる

## Ⅲ. 教育成果

### 1. 主な進学・進路先

#### ＜国際教養学科・国際情報学科＞

【国公立大学・大学院】国公立 35名(+2)

名古屋(±0)、お茶の水女子大学 (+1)、東京外国語(±0)、神戸 (+3)、横浜国立(+2)、茨城(-1)、秋田(±0)、山形(±0)、静岡(+1)、岡山 (+2)、福島 (+3)、信州(+1)、山口(+1)、名古屋工業(+2)、金沢(+2)、富山 (+1) 北陸先端科学技術大学院大学(+1)など

【私立大学・大学院】早慶上理 8名(-8)、GMARCH+関関同立 50名(-10)

早稲田 2名(-1)、慶應義塾 4名(-1)、東京理科 2名(-5)、明治 4名(+1)、青山学院 5名(-3)、立教 3名(+1)、法政 6名(-4)、中央 3名(-3)、学習院 2名(±0)、関西学院 10名(+3)、関西 3名(±0)、立命館 6名(-8)など

【デザイン総合学科】多摩美術大学大学院、多摩美術大学編入、東京工芸大学、女子美術大学、日本大学芸術学部、和光大学 3年次編入、和光大学、神戸芸術工科大学、文化学園大学など  
須裁株式会社、タビオ株式会社、太陽谷株式会社、澤井織物、株式会社 NUNO、株式会社 corner printing、株式会社赤木染工場など

以上